

ふくちやまし

リニューアル号

議会だより

2016
11



福知山城

ドッコちゃん

■発行／福知山市議会 ■編集／広報広聴委員会 ■平成28年11月発行 No.110



この秋、市内各地域で
敬老会が開催されました。
いつまでも、お元気で!!

主な内容

9月定例会の概要	2	決議・意見書・提言・12月定例会の予定	10
予算審査委員会審査報告	3	一般質問	11～19
決算審査委員会審査報告	4～7	委員会の活動報告	20～22
9月定例会 委員会審査報告	8	議会報告会・議員報酬等検討委員会	23
討論・議決結果	9	元氣やで福知山!「福知山昔話紙芝居同好会」	24

9月定例会

○事業棚卸しおよび地方創生関連事業などの補正予算を可決!(総額4億6861万円)

○平成27年度決算議案(全19会計)を可決・認定!

○「大呂自然休養村センターの指定管理に関する決議」を可決!

○「次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書」を可決!

9月1日から10月20日までの50日間にわたって9月定例会を開催しました。

この議会では、平成28年度一般会計補正予算など46議案が市長から提案されました。

このうち、補正予算と条例制定・改正などの議案は、全議案原案どおり可決しました。

また、人事議案7件については、教育長の任命は不同意、6件は同意しました。

さらに、平成27年度決算の認定議案については、決算審査委員会において、9月30日、10月3日、4日、12日に所管

別質疑・総括質疑により審査を行い、10月20日に全議案可決及び認定しました。(内容はP4～7をご覧ください。)

なお、本定例会の一般質問は、12日～14日の3日間で行われ、17人の議員が質問を行いました。(内容はP11～19をご覧ください。)

また、本会議には延べ68人の皆さまの傍聴があり、「議会全体の流れがよく分かった。」「行政に関心を持つ機会になった。」などの感想をいただきました。

9月定例会で決まった主な案件

(万円未満切捨)

市長公約関連事業の補正予算

9,122万円

- 事業棚卸し 155万円
- 医療・介護・福祉総合ビジョン検討事業 40万円
- 市民病院新リニアック棟建設設計費 1,047万円
- ふくちやまPR(パブリック・リレーションズ)スタートアップ事業 350万円
- 体育施設設備整備事業(三段池公園テニスコートの改修等) 6,330万円
- 三段池公園カルチャーパーク整備事業(公園内トイレ更新・改修) 1,200万円

地方創生関連事業の補正予算

4,847万円

- お試し住宅整備事業(三和・大江地域) 379万円
- 農山村空き家バンク事業 534万円
- 地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備)他2件 3,933万円

通常の補正予算

7,000万円

- 弘法川流域の市営林測量調査、西川調整池の整備、B型肝炎予防接種事業など14件

国庫負担金返還金及び基金積立事業の補正予算

2億5,891万円

- 国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計

条例の新規制定(3条例)・一部改正(5条例)

- お試し住宅条例、地域子育て支援拠点施設条例、豊かな森を育てる基金条例の新規制定
- 大江町定住促進住宅条例、障害児通園施設条例など5条例の一部改正

その他

- 工事請負契約の締結・変更、財産の無償譲渡、物品の取得、訴えの提起
- 平成27年度一般会計・特別会計・企業会計決算の可決及び認定

議員提案

- 大呂自然休養村センターの指定管理に関する決議
- 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書

人 事

- 教育委員の任命(1名)、固定資産評価審査委員会委員の選任(1名)、人権擁護委員の候補者の推薦(4名)

平成28年福知山市一般会計補正予算

補正総額 4億6861万円

市民病院放射線治療装置(リニアック装置)更新など 全4議案全員賛成で可決!!

主な質疑

事業棚卸しの効果は

問 事業棚卸しの内容と事業効果は。

答 外部有識者の視点から対象事業の活動内容、実績、成果、効果について、的確な把握と分析を行う。また各事業を検証することにより、課題を明らかにし、事業を効率的、効果的なものにつくりかえるものである。その結果、職員が事業の課題を確認し、解決することにより、政策形成能力の向上につながると考えている。

体育施設設備整備事業は

問 三段池公園テニスコートの整備・改修は。

答 人工芝化されていない10面について利用者の利便性を考慮し、今年度は6面を改修し、残り4面は平成29年度に施工する予定である。

合併特例債の発行は

問 旧合併特例債の今後の発行の考え方は。

答 9月補正予算後の発行可能額は4億3490万円となっている。平成27年度決算においても、過疎対策事業債、旧合併特例債の発行により、実質的市債残高は2・5億円

ハッピー プロジェクト 婚活支援事業は

問 本事業にかかる補助金と対象団体はどこか。

答 若者が主体となった独自性の高い婚活イベントを支援するものである。対象団体として、福知山商工会議所青年部と福知山青年会議所を想定している。



昨年の婚活実施状況

B型肝炎予防接種事業は

問 本事業の自己負担額と他市町村の状況や財源措置はどのようなになっているのか。

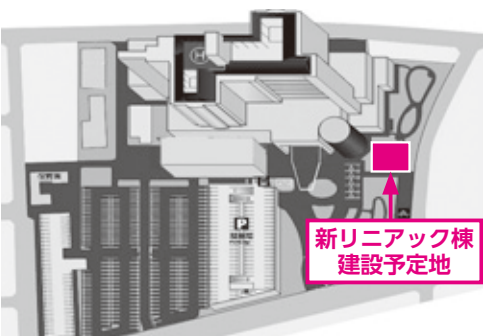
答 予防接種法に基づく定期接種となるため、京都府内の

全ての市町村において、本市と同じく無料で実施される。国庫補助金などではなく一般財源で対応するが、9割が地方交付税で措置される。

福知山市市民病院事業は

問 市民病院のリニアック装置更新で、建屋を新規に建設する理由は何か。

答 新しいリニアック装置の機器調整には数カ月の期間を要する。そこで患者の治療を継続するためには別に建屋を建設し、リニアック装置の設置が必要である。既存の建屋は別の用途に使用することを検討している。



市民病院リニアック設備図面

26年の8月豪雨災害でも浸水しなかった、少し高い場所の病院南側に建設を予定している。基本設計においても浸水対策を検討したい。

大呂自然休養村センターの運営は

問 大呂自然休養村センターの直営期間は、どのような人員配置で運営されているのか。

答 臨時職員4名で1日2名の交代制で人員を配置し、グラウンドゴルフ場、キャンプ場、宿泊管理棟などの管理を行っている。

問 平成29年度からの指定管理者募集に関する見通しは。

答 現在、指定管理者制度第三者評価委員会において、指定管理者制度の導入は継続審議となっている。再度、施設の基本理念や指定管理料の積算などについて精査をする必要があり、今後のスケジュールは未確定である。



大呂自然休養村センター
(グラウンドゴルフ場)

改修予定の三段池公園テニスコート

(平成 27 年度決算にかかる) 決算審査委員会審査報告

一般会計実質収支 7 億 3694 万円の黒字決算

一般会計 市債残高(借金) 516 億 7444 万円

全 19 議案認定可決!

所管別質疑

総務防災関係

問 個人・法人市民税の増額要因と徴収率は。

答 個人市民税の納税義務者は全体で374人減少したが、課税標準額が300万円を超える納税義務者が前年比で増えた。その結果、1人当たりの所得割額は前年度比2・1%増となった。法人市民税に関しては、特に製造業と建設業の回復が大きく影響しており、調定額の前年度比は、製造業6・6%増、建設業18・9%増になっている。その中でも、長田野工業団地立地企業が調定増額分の85・2%を占めている。

問 自治会長報酬の制度的根拠と報酬額の算出根拠は。

答 地方自治法と本市の条例に基づき、自治会長の事務委嘱要綱で定める事務を対象として支払いを行っている。報酬額は、均等割、世帯割および距離補正により算出している。

問 公共施設マネジメント事業において、避難所に指定されている公共施設の取り扱い

答 マネジメントは市が一方



防災行政無線ラジオ

的に行うものではなく、地区避難所として利用されている集会施設などは、施設の本来目的と防災上の観点も踏まえた中で、十分な説明と合意形成を図り進めていきたい。

問 防災行政無線整備事業と防災情報緊急告知ラジオ導入事業の内容は。

答 防災行政無線の放送は、大雨時には聞き取りにくく、市民から苦情や問い合わせがあったが、テレフォンガイダンスシステムの導入後はほとんど無くなっている。

緊急告知ラジオは、土砂災害警戒区域の世帯に1323台を配備し、希望する市民には53台を販売した。これまでに、土砂災害警戒区域の全世帯、自治会役員、自主防災組織、民生児童委員、要配慮者などに配付し、現在の総計で3377台が配備されている。

市民地域関係

問 きめ細かな安心安全事業の要望件数と予算の執行方法は。

答 年間の要望件数は、三和支所が約80件、大江支所が200件以上、夜久野支所では多数の要望があった。自治会などから寄せられる地域要望の中で緊急性かつ安全確保の観点から、迅速に対応する必要がある場合において、効果があり実効性のある事業を精査し、50万円の範囲内において支所長権限で実施している。

問 ふくちの村来入(むらびと)定住活動支援事業について、地域おこし協力隊員の増員への考えは。また、任期終了後の支援策は。

答 現在の協力隊員の地域活動の検証を行い、地域の実情や地域要望を受けて増員を検討していきたい。また、農山村での地域活動を生かした起業や就職ができるように、地域の人と連携し支援できる体制を整えたい。

問 敬老乗車券事業において、販売実績と今後の対応は。

答 販売実績は前年度より10%程度伸びており、新規購入者が379人と全体の25・

7%を占めた。今後は購入者の拡大および高齢者の公共交通の利用促進をさらに図っていく必要がある。



敬老乗車券

問 国民健康保険事業において、妊婦歯科健診の受診状況や周知方法は。

答 受診者336人中、国保加入者の受診者は35人で、割合にすると10・42%である。健康かわら版の全戸配布や母子手帳の交付時に案内をしている。



健康かわら版

産業建設関係

問 ふくちやま復興プレミアム商品券発行事業の成果は。

答 販売総数5万2千セットを売上げ、6億2400万円が市内で流通した。地域における消費喚起と経済の活性化に寄与するとともに、20%のプレミアム率を付加したことにより市民生活の支援にもつながった。



プレミアム商品券

問 水洗化促進補助事業について、浄化槽整備区域における水洗化率と、浄化槽設置促進に向けた今後の取り組み方は。

答 現在の浄化槽整備区域内の人口普及率は67・4%であり、昨年の66・8%から0・6ポイント上昇している。今後も、生活環境の改善、水質保全の観点から、広報誌などを活用した啓発に努めると

もに、浄化槽推進組合とも連携しながら設置促進に向けた取り組みを進めていきたい。

問 水道事業の平成25年度以降の3年間で、供給単価に対する給水原価が大きくマイナスとなった要因は。

答 人口減少、節水意識の高まり、節水機器能力の向上に加え、災害にかかる減免も一つの要因である。

問 農業集落排水施設事業の今後の施設統合の考え方は。

答 人口減少などに伴い施設に余力が出てくるため、現在積極的に施設の統合を進めている。今後も、地形的条件による事業費、維持管理経費などを勘案しながら、可能なところについては統合を図っていききたい。

問 過疎対策事業について、地元要望を受けて実施している路線数は。

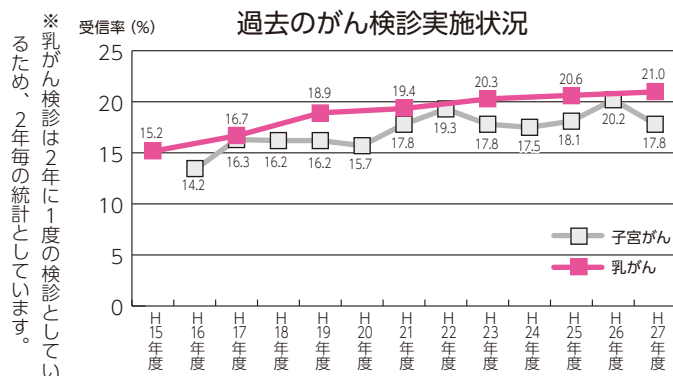
答 旧3町地域から提出された要望の中から採択基準に適する路線を過疎地域自立促進市町村計画に位置付けて事業を行っている。現在、計画に載せている路線は13路線あり、その内、平成27年度は6路線の事業を実施した。

教育厚生関係

問 女性のためのがん検診推進事業について、受診率の現状から今後の向上策は。

答 国が設定する50%の受診率を目標に啓発などを強化していく。

過去のがん検診実施状況



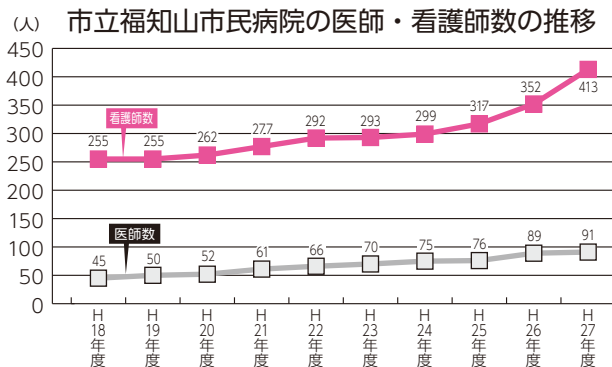
問 「介護保険事業について、介護給付費の減少要因と今後の増減傾向は。

答 平成27年度に介護報酬がマイナス改定されたことが主な要因であり、施設サービス費では特別養護老人ホーム関係がマイナス5・6%の改定

率となっている。介護が必要な高齢者は増加傾向にあり、制度開始以来、介護給付費は増加している。このため介護に至らない高齢者を増やしていく介護予防の取り組みや、在宅生活を支える医療・介護の連携を進めていくとともに、地域とも十分に連携しながら自助・共助・公助の取り組みを進めていきたい。

問 病院事業について、医師の確保対策は。

市立福知山市民病院の医師・看護師数の推移



答 平成27年度末の医師数は、大江分院を含めて67人であり、前年度から3人の増である。『総合診療医』養成カリキュラムをはじめ、教育力の高い病院として全国に認知されることが医師の確保につながる。

問 ぐらしの資金等管理事業について、徴収業務への組織的な対応状況は。

答 従来から嘱託職員を雇用して、積極的に訪問徴収や催告事務を行っている。平成28年度から債権担当職員を地域福祉課に集約しており、職員体制の充実を図っている。

問 前年度よりぐらしの資金の貸付件数が減少した要因は。

答 平成26年度は8月豪雨災害による貸付を行ったため件数が多かった。また、平成27年度当初に要綱改正を行い、対象世帯について申請前期限を定めたため、貸付件数が減少したが、生活の一次的な資金として真に必要な人に貸し付けができるようになった。

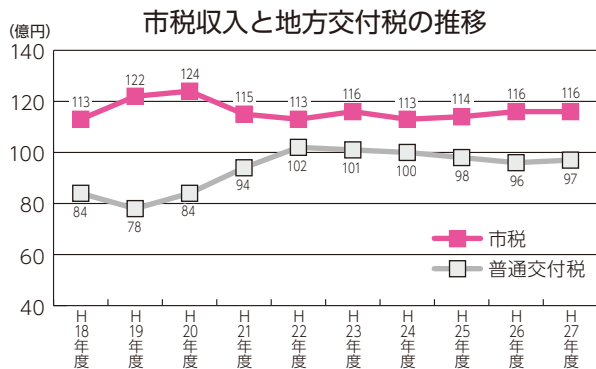
●医師数：正職員の他に臨時職員・研修医・専攻医を含みます。
●看護師数：正職員の他に臨時職員・助産師・准看護師も含みます。
●職員数は年度末人数です。
●平成27年度は大江分院の職員数を含んでいます。

総括質疑

一般会計歳入関係

問 市税、地方交付税の動向や推移は。

答 市税収入は、前年度比約517万円の微増となったが、法人市民税の先行きは、円高と不安定な世界経済など懸念材料があり、今後も厳しい状況が続く。地方交付税総額の今後の推移については、市税収入などの動向により増減する。中期財政見通しでは、合併特例債や臨時財政対策債の償還費が増加することから、現在と同額程度の地方交付税の確保を見込んでいる。



問 市債の発行と今後の推移は。

答 市債の発行については、平成32年度までは、合併特例債は通常債を振り替え、事業債を厳選し発行する。過疎対策債は過疎計画に記載された事業について、単年度ごとの発行限度額を考慮しながら計画的に発行していく。治水対策や社会資本整備など、その他の市債発行については、事業計画に基づき発行する予定としている。今後の推移については、平成32年度までの市債発行額は40億円から50億円台で推移すると予測している。

一般会計歳出関係

問 年々増大する扶助費について、今後の予測と支出のあり方は。

答 扶助費は、地方単独事業を除き、生活保護法や児童福祉法、老人福祉法などに基づき公的扶助制度の一環として位置づけている。国の動向に関連しており、その増加の予測は難しいが、中期財政見通しでは、増加率を2・0%と想定している。市財政が圧迫している状況の中、給付の厳格化や受給要件、給付水準な

ど、あらゆる観点から見直しが必要であると考えている。

問 地方創生先行型事業について予算残が多くなった要因は。

答 事業所や個人への事業補助については、経済対策として13カ月予算としている。前年度の災害の影響や利用者にも一定の負担がある中で、事業の周知にも努めたが、予算どおりに執行できないものがあった。

問 総合治水対策の初年度として、市のハード面の取り組みは。

答 高田貯留施設、和久市ポンプ場の耐水化、土師新町貯留施設が平成27年に完成した。駅南6号雨水排水ポンプ場の増強や排水ポンプ車2台の配備を行った。



土師新町貯留施設

問 災害復旧事業が市財政に及ぼした影響は。

答 平成25年度、平成26年度災害により、多額の市単独事業を実施した。その不足財源として、財政調整基金から16億円を取り崩して対応した。

それにより基金の残高が大きく減少し、将来の災害にも対応できる財政余力は大きく低下した。また今後、災害復旧債の市債償還は、交付税措置があるものの財政を圧迫する要因にもなると考えている。

特別会計

問 赤字決算の4特別会計の評価と今後の展望は。

答 宅地造成事業において、一般分譲地の売却や整備の進捗は特になかった。石原土地区画整理事業及び福知山駅周辺土地区画整理事業は売却区画の増加により増収となり、累積赤字も改善した。河守土地区画整理事業も事業費の削減により収支は改善した。購入希望者を待つだけでなく積極的に物件紹介の情報発信を行い早期売却に努めたい。

企業会計関係

問 水道事業について決算分析を踏まえて、今後の経営の予測と料金設定の基本方針は。

答 給水人口及び給水量は減少傾向にあり、加えて多くの水道管路が法定耐用年数を順次経過し、一斉に更新時期を迎える状況となっている。平成28年度は直ちに赤字にはならないが、平成31年度以降は資金が不足する見込みである。現在検討している料金改定は、この予想される危機を回避するものであり、施設更新費用について世代間の公平な負担が図られるように、慎重な検証と制度設計を図ることを基本方針としている。

問 経常収支比率が0・8ポイント悪化し、93・5%となった要因は。

答 分母となる経常一般財源は、地方消費税交付金や普通交付税の増加などにより、対前年度4億7千万円増加した。一方、分子となる経常経費に充当される一般財源が、民間保育所への委託費や生活保護費、特別会計・企業会計への繰出し、新規稼働施設の運営経費などの増加により、対前年度6億4千万円の増加となったことにより、経常収支比率が上昇した。

自由討議

自由討議のテーマ
「公共施設マネジメント計画の進捗状況」について

○公共施設マネジメント計画の進捗状況の把握は、市政への影響と、地域住民との合意形成の点から、重要な事項であり、議会への報告が必要である。

○三岳山の家の建物は現在も使用できる状態であるが、地元での管理は負担が大きい。行政の関わりがないと前進しない。周辺部の振興の観点からも重要な課題である。

○マネジメントに関して、地域によって非常に温度差がある。

○地縁団体でないと譲渡できないが、地縁団体の設立や代表者の確保が課題である。

○閉鎖した施設の活用については、地元や地域協議会と十分な協議をすると答弁があったが、具体的な内容が分からない。

○避難所になっている施設を地元に移譲し、別の使用目的として利用された場合、新たに他の避難所が必要ではないか。

○地元説明会が開催されたあとの変動はなく計画は動いていない。地元に移譲されても、管理経費などの説明がないと決められない。地域ごとに特性の違いもあり、

住民合意は至難の業と考える。

○計画の進捗により、解体設計が増えているが、民間と比べて設計費用が割高ではないか。

○723施設において、「統合、解体、残す」の3つに分類しないといけない。専門家とともに、順序を立てて、早期に進めなければいけない。

○解体設計は、住民への説明責任やトラブル対応の観点から必要な場合もある。解体業務の一元管理も今後必要ではないか。

○解体費用の上昇は、解体処理作業の難しさからきている。解体して更地にすることでない場合もあり、そのプロセスの説明も必要である。

○解体費用の今後数年間のシミュレーションを示してほしい。

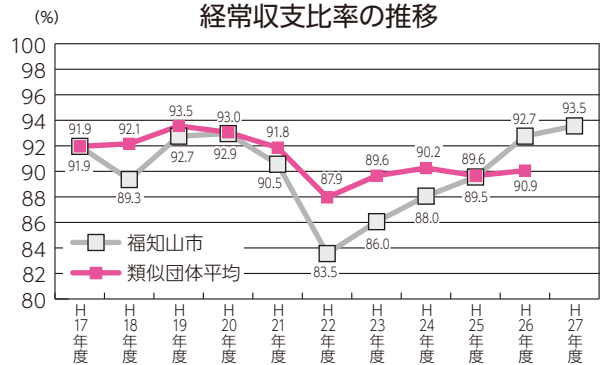
などの意見が、各議員からありました。

また、議第49号の介護保険事業特別会計については、保険料と給付の関係で医療給付費が増えれば保険料も上がり、高齢者の負担が増大する制度設計となっており賛成できない。また、議第53号の地域情報ネットワーク事業特別会計については、プロポーザル方式での民間事業者選定では応募者が2社しかなく、テレビのみの利用者がほとんどを占めている。料金設定が月額1480円と高額負担となっており、低所得者への負担軽減の方針が不明確であり賛成できない。

自由討議とは

市政全般や個々の政策に対して、議員が賛成、反対の意思表明をするだけでなく、議員間で活発に議論することにより、意見の一致点や対立する論点をより明確にし、議員一人ひとりの考え方や審査過程を広く市民に発信するものです。

経常収支比率の推移



三岳山の家

反対の討論

審査結果

全員賛成（原案認定）

議第40号、議第41号、議第42号、議第43号、議第44号、議第45号、議第46号、議第47号、議第48号、議第50号、議第51号、議第55号

全員賛成（原案可決及び認定）

議第54号、議第56号

賛成多数（原案認定）

議第38号、議第39号、議第49号、議第52号、議第53号

9月定例会 委員会審査報告

■総務防災委員会

特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する
条例の一部改正

問 行政改革推進委員会の専門委員の報酬額1万5千円の
設定根拠は。

答 本市に限らず全国で活躍される専門的知識を有する人材であり、他市との均衡も考慮して、通常の委員報酬の概ね2倍としている。

(全員賛成で可決)

物品の取得について

(災害対応特殊消防ポンプ自動車)取得価格4704万4800円

問 水害時に対応するため、車両の浸水仕様は。

答 通常の消防ポンプ車であり、特別な浸水仕様はない。

問 取得に際して、再入札となった理由と指名9業者のうち市内業者は。

答 入札1回目は、9業者とも予定価格を超過したため再入札となった。また、指名9業者の内、市内業者は2業者である。(全員賛成で可決)

■市民地域委員会

福知山市お試し住宅条例の
制定

問 「上川合団地」は公共施設マネジメントでは「廃止」とされているが、なぜ継続なのか

答 7月に特定公共賃貸住宅の用途廃止が認められ、移住定住、人口の流入を促進するために、お試し住宅として整備するものである

(全員賛成で可決)

福知山市大江町定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定

問 お試し住宅条例の制定に合わせて家賃を改定するのか

答 前回の改定は平成14年に行った。今後は定期的に改定を検討していく。

(全員賛成で可決)

福知山市鬼の里Uターンプラザ条例の一部を改正する条例の制定について

問 お試し住宅で利用する人と既入居者の使用料の格差が発生する。影響があるのでは。

答 1階と3階が既入居住宅

であり、2階をお試し住宅として使用する。フロアは区別されているため影響は少ないと思われる。

(全員賛成で可決)



鬼の里Uターンプラザ

■教育厚生委員会

地域子育て支援拠点施設条例の制定、教育集会所条例の一部改正

問 地域子育て支援拠点施設「すくすくひろば」は、岡ノ三教育集会所との複合施設となるが、施設管理の分担は。

答 今回設置される「すくすくひろば」の施設管理は、福祉保健部が行い、事業運営はNPOに委託する。NPOは

施設に常駐し、教育集会所の施設管理(使用受付や清掃等)についても行う。光熱水費などの費用負担は福祉保健部と教育委員会が分担する。

(全員賛成で可決)

訴えの提起(裁判上の和解を含む。)

問 訴えの提起を行う理由は。くらしの資金12万円の貸付について、納付約束を守らず、連絡もなく市外に転出した人に対し、少額訴訟で債権の回収を行うためである。

問 裁判上の和解とは。

答 簡易裁判所に提起すると、訴訟になり判決となるか、もしくは和解が成立し、分割納付になる場合もある。判決を受けることで強制執行が可能になる。

(全員賛成で可決)

■産業建設委員会

工事請負契約(災害復旧工事)の締結

問 室地区災害復旧工事と市寺地区災害復旧工事で、排土工の量が約2倍になっている

が、工事価格に大きな差が生じていないのはなぜか。

答 有害物質などを含む排土処理については、遠方へ運搬し特殊な処理を行う必要がある。今回の工事でこうした費用のかかる排土の量に、大きな差がなかったためだ。

(全員賛成で可決)

財産の無償譲渡について(長田南北共同作業所と長田南農機具保管庫)

問 公共施設マネジメントのガイドラインでは、施設用地の譲渡は有償となっているが、なぜ無償譲渡なのか。

答 農業施設の財産の無償譲渡に関する実施要領では、用地の譲渡価格は固定資産評価額を基礎とし、将来の施設の撤去にかかる経費に相当する金額を減額して譲渡価格とすることとなっている。この場合、解体費相当額が評価額を上回りマイナスとなるため、無償譲渡とするものだ。

(全員賛成で可決)

討 論

議第38号～56号

反 対 議第38号、39号、49号、52号、53号 紀 氏 百合子
一般会計は、わずか1年での公立大学開学、同和対策に偏った人権施策など問題だ。国民健康保険事業では、保険料の引き上げが、国保料の滞納や短期証・資格証の発行につながった。介護保険事業も値上げが滞納につながっている。後期高齢者医療事業も医療給付と保険料の一体化が問題だ。地域情報ネットワーク事業は、低所得者への負担軽減策が不明確であり賛成できない。

賛 成 全議案 森 下 賢 司
財政調整基金を取り崩さず基金総額109億円の確保は地道な努力の賜物。市債残高は昨年より少ない991億円で財政健全化が進められた。財政健全化判断比率も早期健全化基準内で安定した財政運営が行われていることから賛成である。ただし、財政の弾力性を示す経常収支比率は5年連続で悪化しており、今後、より健全で持続可能な財政運営の構築が必要である。

■全員賛成で可決となった議案

議第19号	平成28年度一般会計補正予算(第2号)	議第42号	平成27年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第20号	平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	議第43号	平成27年度宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第21号	平成28年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	議第44号	平成27年度休日急患診療所費特別会計歳入歳出決算の認定
議第22号	平成28年度病院事業会計補正予算(第1号)	議第45号	平成27年度公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第23号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	議第46号	平成27年度農業集落排水施設事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第24号	福知山市おとし住宅条例の制定	議第47号	平成27年度福知山都市計画事業石原土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第25号	福知山市大江町定住促進住宅条例の一部改正	議第48号	平成27年度福知山都市計画事業福知山駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第26号	福知山市鬼の里Uターンプラザ条例の一部改正	議第50号	平成27年度大江都市計画事業河守土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第27号	福知山市地域子育て支援拠点施設条例の制定	議第51号	平成27年度市下夜久野地区財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定
議第28号	福知山市障害児通園施設条例の一部改正	議第54号	平成27年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
議第29号	福知山市教育集会所条例の一部改正	議第55号	平成27年度下水道事業会計決算の認定
議第30号	福知山市豊かな森を育てる基金条例の制定	議第56号	平成27年度病院事業会計資本金の処分及び決算の認定
議第31号	工事請負契約の締結	議第57号	物品の取得
議第32号	工事請負契約の締結	議第58号	教育委員の任命(和田大顕さん)
議第33号	工事請負契約の変更	議第59号	固定資産評価審査委員会委員の選任(細見均さん)
議第34号	財産の無償譲渡	議第60号	人権擁護委員の候補者の推薦(時田羊子さん)
議第35号	訴えの提起(裁判上の和解を含む。)	議第61号	人権擁護委員の候補者の推薦(芦田明子さん)
議第36号	訴えの提起(裁判上の和解を含む。)	議第62号	人権擁護委員の候補者の推薦(谷内善明さん)
議第37号	訴えの提起(裁判上の和解を含む。)	議第63号	人権擁護委員の候補者の推薦(大槻克宏さん)
議第40号	平成27年度国民健康保険診療所費特別会計歳入歳出決算の認定	市会発議第4号	福知山市大呂自然休養村センターの指定管理に関する決議
議第41号	平成27年度と畜場費特別会計歳入歳出決算の認定	市会発議第2号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅化改修の見直しに関する意見書

■議員別議案賛否一覧表(賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議案	会派別議員名(議決結果)	議決結果	日本共産党市会議員団					福知山市議会公明党				福知山未来の会				希望の会				地域政党ふくちやま議員団		福知山きずなの会				蒼士会	
			塩見卯太郎	吉見純男	大槻富美子	紀氏百合子	金澤徹	足立伸一	大谷洋介	吉見茂久	森下賢司	芦田真弘	竹本和也	中嶋守	桐村一彦	藤田裕二	田淵信吾	西宮辰郎	高宮浩司	荒川聡	塩見晃	奥藤正隆	木戸実	柴田修	井上勝	野田正樹	高橋
議第38号	平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定	認定	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第39号	平成27年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第49号	平成27年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第52号	平成27年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第53号	平成27年度地域情報通信ネットワーク事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第64号	教育長の任命	不同意	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○

福知山市大呂自然休養村センターの 指定管理に関する決議

福知山市大呂自然休養村センター(以下「センター」という。)については、平成28年3月に新しい宿泊管理棟が完成した。しかし、全面的に開業することなく指定管理者と福知山市(以下「市」という。)との間でセンターの運営面の諸課題が顕在化し、同年8月2日に市が指定管理者を取り消し、同月24日から市が直営により部分的に運営するという事態に陥っている。

センターは多額の税金を投じた市民の大切な財産であり、一日も早く持続可能な体制のもとで全面的に設置目的に沿った運営を再開することが市の責務である。

そこで、福知山市議会(以下「市議会」という。)としては、本件にかかる経過を調査・検証する中で、今後は以下の点に特に留意して、センターの指定管理者の選定等にあたられるよう強く求める。

- 1 指定管理関連議案の審査期間を十分に確保するために、センター全体の整備のあり方や指定に係るスケジュールなどを十分に精査した上で指定管理議案を提案し可決された後、次回以降の議会に指定管理料の予算議案を提案すること。
- 2 効率的かつ効果的に議案の審査を行うために、指定管理者の選定過程、基本協定書、仕様書、執行スケジュールや財務内容などを委員会資料に添付すること。
- 3 選定委員会の委員の半数を市職員が占めているという現状は、客観性・公平性の観点から誤解を招く恐れがあるので、委員構成の見直しを検討すること。
- 4 円滑にセンターを運営するために指定管理者と市の各々が行うべき必要事項を定める基本協定書には、次の事項を明記すること。
 - ① 指定管理者による運営開始までの指定管理者と市の双方の詳細な業務執行スケジュール
 - ② 従来の協定書には規定されていない事態の対応策、責任分担など
 - ③ 調達する備品の種類、費用負担、納期及び基本協定締結時における納品済、未納、未発注の区分
- 5 今回のことを教訓に、現在取り組んでいる指定管理制度運用ガイドラインの策定においては充分な検討を行うこと。また、センターにおいては今後の事業進捗の節目や毎年度の決算状況については、速やかに市議会に報告するとともに、その運営状況については市民にも公表すること。

以上、決議する。

平成28年9月29日

福 知 山 市 議 会

次期介護保険制度改正における福祉用具、 住宅改修の見直しに関する意見書

平成27年6月30日に閣議決定された「骨太の方針」の中で、次期介護保険制度改正に向けて、軽度者に対する福祉用具貸与等の給付の見直しを検討することが盛り込まれました。現行の介護保険制度による福祉用具、住宅改修のサービスは、高齢者自身の自立意欲を高め、介護者の負担軽減を図るという極めて重要な役割を果たしています。

例えば、手すりや歩行器などの軽度者向け福祉用具は、転倒、骨折予防や自立した生活の継続を実現し、重度化を防ぎ遅らせることに役立っています。また、安全な外出機会を保障することによって、特に一人暮らしの高齢者のとじこもりを防ぎ、社会生活の維持につながっています。

仮に軽度者に対する福祉用具、住宅改修の利用が原則自己負担になれば、特に低所得世帯等弱者への負担増大になりかねず、また、福祉用具、住宅改修の利用が抑制され重度化が進展し、結果として介護保険給付の適正化という目的に反して高齢者の自立的な生活を阻害し給付費が増大するおそれがあります。

以上の理由から、国におかれては、次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討を進めることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年9月29日

衆議院議長	大島 理 森 様
参議院議長	伊達 忠 一 様
内閣総理大臣	安倍 晋 三 様
総務大臣	高市 早 苗 様
厚生労働大臣	塩 崎 恭 久 様
内閣官房長官	菅 義 偉 様

福知山市議会議長 田 中 法 男

12月定例会の予定(26日間)

- | | |
|-----------|--------------|
| 12月 2日(金) | 本会議(提案理由の説明) |
| 13日(火) | 本会議(質疑・一般質問) |
| 14日(水) | 本会議(一般質問) |
| 15日(木) | 本会議(一般質問) |
| 16日(金) | 予算審査委員会 |
| 19日(月) | 予算審査委員会 |
| 20日(火) | 各所管別委員会 |
| 26日(月) | 本会議(採決) |
| 27日(火) | (会期) |

※この議事予定は、今後変更になることもあります。

また、この他に、議会運営委員会・全議員協議会などの会議を随時開催します。

【請願を提出される方へ】

12月市議会定例会の請願審査にかかる受付期限は、12月13日です。請願の提出には、1名以上の議員の署名が必要となります。詳しくは、市議会事務局までお問い合わせください。

市議会から市長へ政策提言！



9月6日指定管理者制度に関する諸課題の解決に向けた政策提言を行いました。この政策提言は、大呂自然休養村センターを始めとして本市の指定管理者制度のあり方などに一定の見直しが必要との見解から、予算審査委員会において16回の協議などの結果をまとめたものです。

市長からは「この提言を取り入れ、指定管理制度の適正な運用のためのガイドラインを策定していく。」とコメントがありました。

ここが聞きたい！

9月定例会 一般質問

質問議員

1. 福知山きずなの会
奥藤 晃 議員
2. 蒼士会
高橋 正樹 議員

3. 日本共産党福知山市会議員団
金澤 徹 議員
4. 福知山市議会公明党
吉見 茂久 議員
5. 福知山未来の会
森下 賢司 議員
6. 希望の会
西田 信吾 議員
7. 地域政党ふくちやま議員団
荒川 浩司 議員

8. 日本共産党福知山市会議員団
紀氏百合子 議員
9. 希望の会
高宮 辰郎 議員
10. 福知山きずなの会
井上 修 議員
11. 日本共産党福知山市会議員団
塩見卯太郎 議員
12. 希望の会
藤田 守 議員

13. 日本共産党福知山市会議員団
大槻富美子 議員
14. 地域政党ふくちやま議員団
塩見 聡 議員
15. 福知山市議会公明党
足立 伸一 議員
16. 日本共産党福知山市会議員団
吉見 純男 議員
17. 福知山未来の会
中嶋 守 議員

※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。
※所属会派は10月末現在

小学校再編にむけて早い対応を!!

福知山きずなの会
奥藤 晃 議員



再編予定の佐賀小学校



問 学校教育推進プログラム（後期計画）の特徴や進め方は。

答 「教育内容の充実」と「学校の適正規模・適正配置」にかかわる施策を車の両輪として学校教育の充実と教育環境の改善を図るものである。学校再編については、統廃合を基本とし、複式学級の解消に努め、保護者の思いを尊重し、地域の理解と協力を得て進めていく。

問 再編の対象校は。

答 小学校では、天津、上六人部、中六人部、金谷、佐賀、菟原、細見、美鈴、有仁小学校で、中学校には

その他の質問

- ・北陸新幹線京都府北部ルートについて
- ・地域包括ケアシステムとこれからの地域づくりについて
- ・総合的な治水対策事業について

問 再編対象校はない。

答 再編対象校への取り組みは。

問 三和地区、大江地区ではPTAが中心となつて、小中一貫校も視野に入れた統合問題についての検討が続いている。その他の学校についても意識調査が行われ、統合検討組織を立ち上げたり説明会や研修会を実施しているPTAがある。

問 できるだけ早い対応とあるが、用途は。

答 PTAや地域の方々と十分に議論をしていただき、理解と協力を得ながら、計画期間である平成32年度までの5年間で目標にしたい。（教育長）

道路整備事業について、周辺市民からは不満の声が!



蒼士会

高橋 正樹 議員



数年間工事中が続く市道拡幅工事

市道の拡幅改修は

問 短い区間を、数年がかりで工事をする理由は、

答 多くの自治会から要望があり、限られた財源の中では、数年に分けて工事発注することもやむを得ないと考えている。

問 一度に出来るのに、複数年にわたり工事中となるのでは、交通危険リスクは高まり、経費の口スも多い。不合理ではないのか。

答 予算確保が難しいことと、特定の自治会へ工事が集中しないようにしていることが理由だ。

問 住民は道路改良には感謝している。工事の施

工形態を考えるべきでは。
答 経費的な効果が発揮出来る路線があれば検討していきたい。

高畑橋の進捗と都市計画道路推進は

問 高畑橋の工事状況は、

答 来年6月の供用開始にむけて順調に進捗している。

問 橋の完成で交通量は増加する。高畑橋は都市計画道路「多保市・正明寺線」の一部であり、道の重要性が一層認識されている。早急な事業展開が必要では。

答 年々財源が厳しくなっており、費用対効果も検証する必要があると考えている。(土木建設部長)

その他の質問

- ・地方創生のとらえ方について
- ・大呂自然休養村センターに端を発した指定管理者制度の問題点
- ・鳥獣害対策電気柵の補助金事務に関する虚偽報告について

原発再稼働の反対を! 安定ヨウ素剤は事前配布を



日本共産党福知山市議員団

金澤 徹 議員



8月27日実施の原発広域避難訓練

問 原発に対する考えは、

また、国・電力会社に原発再稼働中止を求めている。

答 市民の安心と安全を守る立場としては、原発の運用は出来る限り早期に解消すべき。将来的には原子力に頼らず再エネを含め、環境に優しいエネルギーの供給体制確立が望ましい。

原則40年を超えた古い原発の安全性の確保は慎重の上にも慎重であるべきであり、地域協議会の中で取り組んでいく。一方で原子力災害訓練を繰り返して、災害への実効性のある対応力強化を考えている。

（市長）

問 安定ヨウ素剤の分散備蓄と現状との比較効果は。備蓄だけでなく希望する住民に事前配布を。

答 現在、市民病院に丸薬1万1千丸、粉体500gを備蓄。市民病院大江分院に分散備蓄を検討中。地震、水害など複合災害のリスク回避が図られる。

事前配布については、ヨード造影剤過敏症や消化器系への影響などの副作用問題や効果的タイミングで服用しないと効果が低減する。現在のところ事前配布は考えていない。(危機管理監)

その他の質問

- ・再生可能エネルギー活用プランの進捗状況について
- ・高齢化社会に対応した投票対策について

徹底した情報共有で住民自治の推進を!



情報共有のツールとして全世帯に配布している
二セコ町の予算説明書

福知山市議会公明党
吉見 茂久 議員



行財政の透明化で 住民自治の推進を

問 住民自治を推進していく上で市民との情報共有が非常に重要だが、改めて見解を問う。

答 情報が行政から的一方通行にならないよう分かりやすい情報共有の仕組みをつくること。その上で市民の皆さんとの対話を通して情報共有に努めることで住民自治の推進が図れるものと考えている。そのため、全事業の棚卸しや市民に分かりやすい行財政の取り組みで情報共有を行い市民と行政のパートナーシップ

を構築して住民自治につなげたい。(市長公室長)

問 市長が市民との直接対話の場を設けていくことへの考え方は。

答 直接市民の皆さんの声を聞く取り組みとして、この8月に夜久野地域、大江地域、三和地域に出むき各地域協議会の役員の皆さん、市民の皆さんと意見交換させていただいた。このような市民の皆さんの声を聞き取り組みをさらに進める中で、しっかりと共通理解を深め市政運営を図っていき

(市長)

その他の質問

- ・鳥獣対策と捕獲獣肉の利活用は
- ・がん対策の推進強化を
- ・食品ロス削減に向けての取り組みを

夏の花火打ち上げの考えは!

福知山未来の会
森下 賢司 議員



この夏、民間団体の努力で打ち上げられた花火

問 花火大会が地域振興に果たしてきた役割は。

答 市域全体の活性化や交流の場、故郷への愛着の醸成に寄与してきた。

問 花火大会再開を求め声も根強いが、どうか。

答 再開を望む声は承知しているが、今なお治療中の方もおられ、被害者救済を第一に優先すべきだ。

問 実行委員会方式に限らず、別の形態も含めて花火大会実施の考えは。

答 市民や民間団体が、それぞれの判断と責任で、法令の手続きに従って花火を打ち上げられることに、市は制限できない。しかし、被害者優先を第

一とする実行委員会と市も連携しており、現時点で市が検討する段階ではない。

問 この夏、批判を承知で立ち上がり、花火を打ち上げたNPO法人の行動力をどう評価するか。

答 さまざまな声があることを承知の上で自らが受け止め、必要な手続きや関係機関との調整を経て花火を実施された。

問 地域おこしに頑張る民間団体への支援は。

答 公金支出などの支援にふさわしいか検討し、必要性に応じて支援したい。(市長・地域振興部理事)

その他の質問

- ・地域で学び、地域で育む活動拠点づくりを考える
- ・新市政における地方版総合戦略を考える

特別参与の委嘱により市政はどうなる？



福知山城から見た市庁舎

希望の会

西田 信吾 議員



■特別参与の委嘱について

問 熊谷氏を委嘱した理由は。

答 行財政改革全般にわたるアドバイザーとして地方自治に豊かな経験がある。知る限りさまざまな面から検討し熊谷氏しかないと判断した。

(市長)

問 東京在住で多忙な人なので支障はないか。

答 本市の改革のアドバイスに適任者。余人をもって替えがたい。有効活用するよう日程調整する。

問 議会に諮らず規則により委嘱した例はあるか。過去にはない。

問 職務内容・権限は。

答 専門的見地から特に重要な施策のアドバイスをする。職員を監督するものではない。

問 副市長の仕事では。

答 職員を監督する副市長と業務は重ならない。

問 福知山市を知らない人が本市の事情を斟酌できるか。

答 特別参与の助言を踏まえて職員が本市の実情と照らして斟酌する。

問 特別参与は職員に直接指示しないのか。

答 特別参与の助言を受けて市長が職員に指示する。(市長公室長)

その他の質問

- ・行財政改革にかかる職員の業務について
- ・京都府庁の機能移転について
- ・子育て支援の充実について

経営のできる自治会運営を目指して



介護認定の軽度な方から利用できなくなる
ディサービス事業

地域政党ふくちやま議員団

荒川 浩司 議員



■地域の自立に向けた市の考え方は

問 福祉では、来年度から介護保険の軽度の方が国の支援から外れ、地域が担うことになる。今後は地域課題を解決し、自立した自治会経営を行う受け皿づくりが必要だが市の考え方は。

答 活動の母体は地域協議会や福祉推進協議会が担うのが妥当と考える。活動の核となる地域コーディネーターを配置し、自立については一緒に考えたい。(市長)

■地域による福祉有償運送の設立が必要では

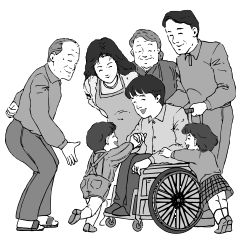
問 交通弱者への対応は。

答 地域が主体になり、なおかつ車両や運転手確保が容易で低料金かつドア・ツー・ドアの福祉有償運送が有効と考える。(市民人権環境部長)

■災害時の地区避難所は必要では

問 本市では集会所などの公共施設について、地域に移譲するか解体かの判断を地域に求めている。突発的な豪雨の際には身近な地区避難所が必要と考えるが、市の考え方は。

答 地区避難所を有する自治会には、より丁寧な説明を行い、避難所機能の確保も協議した上で、一定の時間をかけて合意形成を図りたい。(市長)



市道・私道内の私有地はすべて非課税に

日本共産党福知山市会議員団

紀氏 百合子 議員



公道も私道も毎日の暮らしに欠かせない。

問 市道や私道に提供されている私有地への固定資産税課税の実態は。

答 私道への課税は417筆で、4万7458㎡、市道は2142筆、15万544㎡を非課税としている。私有地の一部が公道となっているものについては把握できていない。

問 地方税法では、公道も私道も課税できないと決まっている。なぜ課税しているのか。

答 地方税法では非課税としている。課税されている場合は税務課とも協議した上で判断していく。（財務部長）

その他の質問

- ・生活保護、急迫保護の実施について
- ・各種料金について減免制度の拡充と創設について

空家対策は一刻も早い対応が有効

問 特定空家対策として、一刻も早く解体助成制度の創設を。あわせて解体後の新築に対する助成制度の創設も提案する。

答 空家対策条例を制定し、空家対策協議会を発足させた。危険な空家の解体助成など、他市の助成制度を参考に、空家対策協議会で意見交換しながら有効な支援策を検討したい。

問 少しでも早い対応が有効。一刻も早く実行を。

答 協議会と意見交換して研究したい。（市長）

観光施設の充実で入込客の100万人復活を!

希望の会

高宮 辰郎 議員



福知山城観光駐車場の早期拡大を

問 福知山市の観光入込客の増加を考えると、福知山城、ゆらのガーデンの観光バス駐車場スペースが極端に少ない。解決策は。

答 観光駐車場の駐車可能台数は、普通車60台、大型バスは近隣の箇所も含めて3台であり、駐車場不足は解決すべき課題と認識している。福知山城周辺において新たな駐車場の拡張について検討を進めていきたい。

（地域振興部理事）

国道・府道の高上げの進捗状況は

問 国道175号・府道55号の高上げの予定は。

答 国道175号（下天津区間）が今年度新規事業化された。約500m区間の測量や土質調査の実施、道路改良計画が策定されている。下天津地区の宅地嵩上げが平成29年度には契約完了の見込みであり、宅地嵩上げ完了後、速やかに道路嵩上げとなるよう京都府に要望している。また、府道舞鶴福知山線の二箇地区の田中橋から有路下体育館にむけ、約600m区間で、今年度は詳細設計、用地測量を実施し、来年度には用地買収の予定である。（土木建設部長）

その他の質問

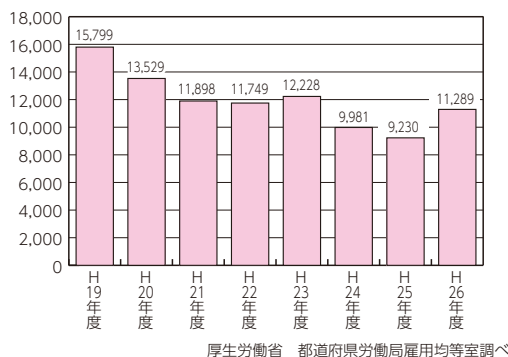
- ・入札制度改革について

セクハラは最悪の犯罪だ 私たちは許さない!!



福知山きずなの会
井上 修 議員

都道府県労働局雇用均等室に寄せられた
セクシャルハラスメントに関する相談件数



ハラスメント対策について
問 市のハラスメント(セクハラ・パワハラ・マタハラ・モラハラなど)に対しての考え方は。
答 市が実施した意識調査では、セクハラの実験の有無は、平成21年度の調査では、10人に1人だった。平成26年度では6人に1人が経験をしていると結果がでている。職場におけるセクハラ、妊娠出産など不利益な扱いなどにおける問題は女性の権利に関する重大な問題であると認識している。今後も引き続き啓発活動などに取り組んでいく。

問 セクハラをされた被害者は、自分が受けた嫌がらせを他の人に相談することができない。性的嫌がらせをされたということや、当事を思い出して辛い思いをしなくてはならないことが原因だが、相談体制はどうなっているか。
答 女性問題専門カウンセラーによる女性相談や、女性弁護士による女性法律相談も行っている。相談事業については、市民の皆さんに広く周知し、相談者に寄り添った取り組みを推進していきたい。
(人権推進室長)

その他の質問

- ・ 障害者差別解消法について

上下水道の大幅な料金値上げの問題点



日本共産党福知山市議員団
塩見 卯太郎 議員



9月17日上下水道料金値上げの説明会
ハピネスふくちやま

問 大幅な値上げの検討を、なぜ非公開で進めたのか。
答 率直な意見交換や、団体・地域の考えなど、広い視野と持続可能なあり方を検討いただくため非公開とした。
問 なぜ、今値上げなのか。
答 将来の収支比率を試算すると、数年後に資金不足に陥り、厳しい経営を予測したこと。また、安定的で独立採算制を確保するため、適正な料金体系とし、安易な一般財源からの繰り入れにならないようにするためである。

問 料金値上げの理由は。
答 3〜4人の世帯で上下水道料金15%、下水道料金20%を値上げした場合簡易水道区域で50円、400円、上水道区域では420円、720円になる。
問 突然の提案であり、拙速である。市民と議会に丁寧な説明を。
答 市民説明会を行う。また、条例改正も必要であり、今後も丁寧に進めていく。
(上下水道部長)

その他の質問

- ・ 指定管理者制度、補助金に関する法令遵守の徹底を
- ・ 市長公約の「経営力の高い市政」とは
- ・ 産業振興について

少子高齢化が進む中六人部をどうするか？

希望の会
藤田 守 議員



地区計画の勉強会（中六人部）

今後のまちづくりへの取り組みは。

問 地域コミュニティ活動の活性化は、高齢化が進む中で自治会などの地域コミュニティ意識の高揚と体制づくりが重要である。また、中六人部地区計画の具体的な実行推進にあたっては、行政との支援連携が不可欠である。市長は、今後のまちづくりのあるべき姿をどのように考えているのか。

いでも地域住民が主役となり、多様な団体・人材と交流・協働を重ねることで、ふるさとの魅力や姿が見つめ直され新たな価値が共有される。その中で、その地域らしく輝くまちづくりが推進されると考える。このため①地域活動を牽引するリーダー育成②地域事情に即した寄り添う意識を持つ伴走型の支援③新たに導入を検討するふるさと市民制度④交流人口の拡大を図るための福知山版制度⑤地域協議会づくりを通じて地域の活性化に取り組むたい。（市長）

その他の質問

- ・防災力・減災力の一層の強化について
- ・医療・介護・福祉・子育てなどの充実強化について
- ・産業振興の対策強化について

施設一体型小中一貫校しか認めないのか

日本共産党福知山市会議員団
大槻 富美子 議員



子ども達の豊かな成長を保障する体制を

結論はいつ頃を目途に

問 大江、三和地域の学校統合の結論の目途は。

答 三和は年内。大江はまだ、合意に至っていない。

地域との協議は

問 三和では説明会が持たれた。大江の予定は。

答 保護者の方針がまとまった段階で行う。

なぜ施設一体型小中一貫校のみを進めるのか

問 義務教育学校（本年6月制度化）は、施設一体型、分離型、隣接型、さらに校長がそれぞれ居る小中一貫型小学校・中学校などがある。さまざまな選択肢を示すべきではないか。

答 夜久野学園を手本に施設一体型小中一貫校が最善であると考えられる。施設一体型小中一貫校以外のダメなのか。ダメとは言えない。最善の方策を学校、地域で決めていただきたい。（教育長）

その他の質問

- ・介護保険から外される、要支援1、2の対応は
- ・和紙、漆、藍染めなどの伝統産業を守るために

露店爆発事故、二度と同じような事故を起こさないために



地域政党ふくちやま議員団
塩見 聡 議員



多くの人々で賑わった8月21日の花火

二度と同じような事故を起こさない

問 露店爆発事故の直接的な原因は。

答 露店商が温度の上がった携行缶の蓋を開け、ガソリンが噴出し、屋台用コンロの火に引火し爆発的に燃焼したことである。

(消防長)

問 今年行われた花火は直接の原因である露店を出さず、河川敷も立ち入り禁止。それに関わらず、なぜ被害者家族会は「時期尚早」とコメントしたと考えるか。

答 事故からまだ3年、治療中の被害者も多数で、同じ時期、場所で行われた

からと推測している。

問 被害者家族会は「事故の原因や真相はまだ主催者や共催者から語られず総括が終わっていない。」ともコメントしている。再発防止のため総括を望んでいる。総括を行う考えは。

答 事故原因が露天商個人の過失と特定されている為、総括する考えはない。(地域振興部理事)

問 待ち望む市民の声、被害者や遺族の声を聴き、総括して安全な花火大会再開への市長の考えは。

答 現時点で本市自身が再開を検討する段階ではないと考えている。(市長)

その他の質問

- ・ 指定管理者の運営監視体制や選定基準について
- ・ ポケモンGOなどの活用について

森林の現状を直視し、資源活用と災害の防止に力を



福知山市議会公明党
足立 伸一 議員



蓄積されていく森林資源

林業施策の取り組みは

問 国土の7割の山林の資源が眠ったまま林業は衰退し伐採期がきても放置されている。膨大な在庫を抱えた山は倒木を招き、災害の危険が大きい。

「森の京都」事業を機に現状を直視し、林業支援と木材活用に精力を注ぐべきだ。近年の木材生産の推移と木材活用の見通しは。

答 木材生産は、平成22年から25年までは順調に伸びたが、豪雨の影響で、最近では低迷。出口対策は、丹州材の活用などの施策に力を入れていきたい。また、直交集成材製造工

場誘致の進展や、新しい活用方法について先端技術の動向も注視していく。

問 担い手育成の課題と、地域の林業組織が機能しない実態があるが。

答 担い手育成事業は内容や対象の見直しをした。組織づくりには地元の協力が必要。モデル的に検討していく。

問 森林の多面的機能向上対策にどう取り組むか。

答 土砂崩れ防止機能向上のため、市営林の安心安全の森づくりなどを実施したいと考えている。(農林商工部長)

その他の質問

- ・ 農業の多面的機能支払いと今後の農地管理について
- ・ 移住定住対策について

農業後継者対策の強化を

日本共産党福知山市議員団

吉見 純男 議員



担い手受け入れ態勢整備を

就農者の誘致活動は

問 市農業者の平均年齢は府平均68歳に対し、73歳と府内で最も高齢化が進んでいる。新規就農者を増やすことが急務だが、

答 若手の担い手農家の育成と集落営農組織や農業法人の設立が急務と考えている。新規就農者の受け入れにむけて、京都府の農業総合支援センターに相談窓口を設定している。市においても相談を受けている。担い手対策は、今後も最重点課題として実施していく。

(農林商工部長)

■ **廃校施設活用急げ**
問 学校統廃合は期間を

定めて進めているが、地域づくりの要となる跡地活用は一向に進んでいない。市は活用について、地元の検討会議などに情報提供をしながら、協働して計画を練り上げていくべきだが。

答 市としても、施設の具体的な活用については、組織横断的な検討が必要となるために公共施設マネジメント検討委員会専門部会で検討していく。廃校施設の先進地事例などの必要な情報を施設管理部を通じて、提供しながら協議を進めたい。(財務部長)

その他の質問

- ・子どもの医療費無料化の拡充を
- ・三和地域における防災行政無線の難聴対応を問う

安心して子どもを産み育てられる子育て支援を!

福知山未来の会

中嶋 守 議員



子育て支援の

まちづくりについて

問 本市のひとり親家庭で、婚姻歴のない家庭はどの程度あるのか。その増減は。

答 ひとり親家庭に支給している児童扶養手当受給資格者数は、8月末現在804人で横ばい傾向であるが、ひとり親家庭の中での婚姻歴の有無などの数は把握していない。

問 婚姻歴のないひとり親世帯の寡婦(夫)控除のみなし適用を実施している府内の自治体の状況は?

答 適用を実施している



こんにちは赤ちゃん訪問グッズ

その他の質問

- ・保・幼・小の連携方策について
- ・交通安全対策について
- ・チャイルドシート貸し出し事業の内容と今後の在り方について

のは、宇治市、長岡京市、八幡市、京田辺市で、対象事業は保育料や放課後児童クラブの利用料などの適用がある。本人の申請により寡婦(夫)控除があるものとして、保育料などの再算定を行う。

問 寡婦(夫)控除のみなし適用なども含めて本市の子育て支援の取り組みは?

答 婚姻歴のないひとり親家庭については、保育料などの負担が大きくなっている場合もある。婚姻歴の有無による差が生じないよう検討していきたい。(福祉保健部長)

総務防災委員会

**消防団員確保・活性化の取り組み、
自主防災組織の先進的取り組みを視察**

松山市消防団の充実強化の
取り組みについて

視察日
8月2日(火)

愛媛県松山市

松山市消防団では、土砂災害などにおいて迅速かつ効果的な救助体制を整備するため、基本団員の中から重機と操作資格を有した者を選抜した「機動重機消防団」を結成し、災害時に即応した活動を行っている。また災害情報の迅速な収集や広報の充実を目的に、地勢・地域住民情報に精通した郵便局職員による「郵政消防団」を結成し、市内全域をカバーした活動を行っている。



さらに、サラリーマン率の高い地域は、日中の災害対応の確保が難しいことから、自動車販売店やスーパーマーケットの社員で「事業所消防団」を結成

し、地域分団の活動を補完している。また、消防団員支援策として、登録された店舗で団員証を提示することで割引や優遇を受けられる制度や自動販売機の売り上げの一部を消防団活動のために寄付をする制度など、市民全体で消防団を応援する風土が定着している。

丸亀市「川西地区自主防災会」の取り組みについて

8月3日(水)

視察先
香川県丸亀市

丸亀市の川西地区は、46自治会、約7000人の地区で、平成14年に自主防災会を設立されている。その先進的な活動は、国や県から表彰され、全国各地からの視察も多く、多地区への指導にも行かれています。

防災力の強化に努め、備蓄品の充実や資機材の確保、訓練のレベルアップを図られている。また、地域を細分化した「要支援者マップ」を作成され、地区全体で支える仕組みが構築されている。

両視察の内容は、今後の消防団の活性化や自主防災組織のあり方の参考としたい。また、本市の消防団員との意見交換も行っていきたい。

市民地域委員会

市民とともに取り組む地域振興施策・移住定住施策の先進地を視察

移住定住・真庭なりわい塾について

視察日
8月2日(火)

視察先
岡山県真庭市

移住定住施策や真庭なりわい塾など真庭市の取り組みを視察した。移住施策のターゲットを移住を考える都市部の住民に置き、自然資源の豊かさをまちの宝として提示してマッチングを図るとの考えを基に、施策を展開していた。

都市と農村をつなぐ交流定住センターには女性の地域おこし協力隊員を配置している。他の多くの自治体を取り組んでいるお話し住宅についても、真庭市では林業のまちらしく木材やCLT（直交集成材）などを取り入れる取り組みが行われていた。



定住施策・日本一の 子育て村構想について

8月3日(水)

島根県邑南町

子育てについては「日本一のまち」を高らかに掲げ、^{*}合計特殊出生率は5年平均で2・15
平成26年は2・07と高い。

移住者は地域おこし協力隊のメンバーとなり、レストランの経営や商品の開発を行うなど定住促進に大きな実績を上げている。

地域おこし協力隊員の活動の様子を見て、人が人を呼ぶということをあらためて学んだ。

*合計特殊出生率とは
人口統計上の指標で一人の女性が一生に産む子どもの平均数を示します



教育厚生委員会

放課後児童クラブ（雀部・大正）と 小学校（雀部）トイレの現況を管内視察

活動日 8月18日（木）

放課後児童クラブの夏休みの
状況を視察

規模の大きな雀部放課後児童クラブと大正放課後児童クラブを訪問した。



元気いっぱい！（雀部児童クラブ）

平成28年度から全ての放課後児童クラブが6年生までを受け入れるようになっていく。夏休み中の雀部児童クラブは児童135人に指導員は20人、大正児童クラブは児童126人に指導員11人に対応している。待機児童については、ほぼ解消されていると説明を受けた。雀部では、小学校施設を使用しているため、さらなる小学校との連携強化が必要であると思われる。共働きや核家族化が進む中、放課後児童クラブへの期待は高まっている。今後も運営状況の



雀部小トイレの現地確認

老朽化が進んでいる小中学校トイレについて、5年計画（平成28年から32年）で順次改修が予定されている。改修前の雀部小学校の現状を確認した。委員会として事業の進捗状況を注視していきたい。

雀部小学校のトイレを視察



仲良く、室内遊び（大正児童クラブ）

把握に努めていきたい。

産業建設委員会

全国的に進む空き家対策を調査！ 上下水道事業の今後の経営方針は？

商工業振興の取り組み
について

視察日 8月2日（火）

視察先 滋賀県彦根市

彦根市では地域経済の発展、地域コミュニティの維持強化を図ることを目的に「彦根市商業振興条例」を制定された。条例制定後、多くの組合員が積極的に商店街活動に関わり、地域貢献に意欲のある事業者も増加している。結果的に中心市街地の活性化にもつながり、全国で人口減少が進む中、彦根市の人口は増加傾向にある。

彦根市の人口と世帯			
平成28年（6月1日現在）	前月との比較増減数		
総数 112,728人	+ 42人		
男 55,676人	+ 32人		
女 57,052人	+ 10人		
世帯数 46,249世帯	+ 68世帯		

地域経済の活性化が人口増につながっている

空き家対策の取り組みについて

視察日 8月3日（水）

視察先 滋賀県東近江市

東近江市では、国の「空き家

対策の推進に関する特別措置法」の成立を受け、空き家対策計画を策定し積極的な取り組みが進められている。注目されるのは、自治会の協力による一次調査の後、業務のスピードアップを図るため2次調査は、職員自らが約1200件の現場を直接見て回り、データベース化を図り、特定空き家の認定まで行われている。民間事業者との連携や、全市的な取り組みとして部署の枠を超えた対応の仕方なども本市の空き家対策の取り組みの参考としたい。

今後の上下水道事業の
経営方針について

活動日 8月26日（金）

当委員会では、上下水道事業の今後の経営方針について調査を進めてきた。今回、上下水道事業経営検討委員会の報告がまとめられ、その報告を受けた。今後の施設の更新や管理なども含め、持続可能な経営を図るためには、料金の値上げは避けられない状況である。市民生活の直結する重要案件であるため、市民への丁寧な説明に徹底理解を得る必要がある。委員会としても引き続き今後の動向を注視していく。

議会運営委員会

議会運営と議会改革について 長崎県「島原市議会・諫早市議会」を視察

議会運営と議会改革について

視察日 8月16日(火)

視察先 長崎県島原市議会

議会運営全般、災害復興と議会の役割、また、姉妹都市として互いの議会の活性化について意見交換を行った。



姉妹都市「島原市議会」で研修

島原市議会では、本会議をケーブルテレビ2社がリアルタイムで放映している。

市民からは、議員の質問や執行部の答弁の直後から感想や意見が議会事務局に寄せられている。また、島原新聞にも詳細が掲載され、市議会と市民が近い関係にあるとの説明を受けた。また、議員の質問内容に対する執行部の進捗状況などを定例会毎に調査している。さらに、前年度決算審査の指摘事項などを踏まえ

て、平成28年度当初予算の修正動議を可決するなど、予算執行に関する議会の監視機能が発揮されている。

次に、災害復興に関して、雲仙普賢岳の災害から25年になるが、災害後は議会に災害対策の特別委員会を設置し、県、国への陳情、要望などに取り組んだ経験の報告があった。

視察日 8月17日(水)

視察先 長崎県諫早市議会

議会基本条例の検証と評価を中心に研修を行った。

諫早市議会では、毎年、議会基本条例の内容について、自己評価を行い、評価結果を公開している。また、その内容について、第三者の客観的評価を求めるため、地元の大学に委託し、専門的知見から外部評価を受けている。評価結果には、政策提言や議員の議案提出が十分との評価をされており、この点は福知山市議会も抱える課題であり、議会基本条例の検証実施の必要性を感じたところである。

その他に、議員政治倫理条例制定、議会情報の市民提供の拡大、議会のICT化、市議会災害対策支援本部要綱の制定など、本市の今後の議会運営に非常に参考となる内容であった。

由良川改修促進特別委員会

由良川改修促進に関する 要望書の提出

京都府・近畿地方整備局への 要望活動について

活動日 8月8日(月)

京都府知事に、福知山市域における総合的な治水対策の推進、由良川改修事業に伴う府管理河川改修工事、管理道路の整備促進、的確な避難などのための基礎情報の収集・提供体制の拡充の要望を行った。

同日、国土交通省近畿地方整備局において、由良川中下流部における「由良川緊急対策」の強力な推進と、総合的な治水対策の早期完成、由良川緊急治水対策から外れた地域(高畑地区)の早期着手、公共事業を着実に推進するための財源確保、公共用地などの取得促進に寄与する税制度の拡充などの要望書を提出した。



京都府への要望活動

国土交通省などへの要望活動 について

活動日 8月23日(火)

由良川沿川市議会関係委員会正副委員長(福知山市、舞鶴市、綾部市)合同で国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所から事業説明を受け、進捗状況を確認した。午後からは、国土交通省近畿地方整備局に要望書を提出した。

活動日 8月24日(水)

前日同様の委員で、国土交通省、財務省、関連のある国会議員に、由良川中下流部における「由良川緊急治水対策」の早期完成および由良川緊急治水対策から外れた地域の早期着手などの要望書を提出した。

福知山市・由良川改修促進特別委員会
舞鶴市・建設常任委員会
綾部市・総務教育建設常任委員会



由良川沿川市議会関係委員会
正副委員長での要望活動

議会報告会「座談会」(対話集会)

福知山市議会では、市民の声をしっかりと聴き市政に反映させることを目的に、議会報告会「座談会」を開催した。

福知山市商工会との意見交換会

開催日 8月25日(木)

場所 ハピネスふくちやま

最初に市議会側から各常任委員会の活動状況について報告し、続いて商工会から活動内容が説明された。その後、事前の質問に対する回答を行った。

防災関連・地域づくり・福祉教育・産業建設の4グループに分かれてグループワーク形式で自由に意見交換を行った。発言時間が十分でなかったが、「由良川筋では築堤もされない、宅地嵩上げもない地域があり、また、築堤後に内水問題も発生する。」「待機高齢者が多いがその対策は。」「地域での子育てが本当に困難になっている。」「森林整備の対策は。」など、参加者から各地域における現状や課

題について多くの意見をいただいた。



福知山市商工会とのグループディスカッション

福知山市民生児童委員連盟との意見交換会

開催日 8月26日(金)

場所 ハピネスふくちやま

前日と同様に、最初に市議会側から各常任委員会の活動状況について報告し、続いて民生児童委員連盟から活動内容が説明された。その後、対面形式で意見交換を行った。「民生児童委員の活動が市民に理解されていない。」「手が不足している。」「もっと

多くの人材がほしい。」「活動費に苦慮している。」「地域包括ケアでも地域に入って行けず本当に困難だ。」「これからは、地域で支え合う方向のようだが、具体的にどうすればいいのか。」「など民生児童委員の活動現場における課題などについて多くの意見をいただいた。市議会としても、今回お聞かせいただいた地域などの悲痛な叫び、多くの行政課題を受け止め、これらの解決を図るべく取り組んでいかなければならない。

広報広聴委員会では、こうした多くの市民の声を聴くために、さらによりよい議会報告になるよう努めたい。



福知山市民生児童委員連盟との意見交換

議員報酬等検討委員会

●議員定数の検討について

当委員会では、平成28年4月から、現在まで11回の委員会を開催し、次期改選時(平成31年4月)以降の「議員定数」について、検討を進めてきた。

前期委員会の報告書を参考に、その後の府内市議会や全国類似団体の動向を調査し、さらには各議員から個別の意見聴取、会派ごとの意見集約を行った。その後、それらの意見を9種のカテゴリーに分類し、委員間での自由討議を重ね、現段階までの検討結果をまとめた中間報告書を作成した。

現時点での会派における協議結果は、議員定数を「削減すべき」「削減が望ましい」が5会派で、「現状維持とすべき」が2会派であり、定数削減の方向の意見が過半数を占めた。しかし、全議員協議会での報告では、各議員からさまざまな意見が出

され、今後も継続した検討が必要である。委員会としては、平成28年度末には、次期改選時の議員定数について、一定の方向性を出すこととしている。このため、今後さらに議論を深め、具体的な「議員定数」について、慎重に検討を進めていく予定である。



平成28年度は、ここまで11回の委員会を開催し、議員定数の検討を行っている。

「元気やで福知山！」

No.21

議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：竹本 和也・吉見 茂久

福知山の昔話を紙芝居にしてふるさとの大切さを伝えておられる「福知山昔話紙芝居同好会」

福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人を、議員が訪問し、取材します。

今回は、福知山市に残る昔話を紙芝居にまとめ、子ども達や高齢者の皆さんにふるさとの大切さを伝える活動をされている「福知山昔話紙芝居同好会」にスポットを当てました。

紙芝居を始めるきっかけは

「東日本大震災で多くの被災された方々があるさとを離れて避難生活をしていかなければならない現実を目にしたことです。自分を育ててくれたふるさとを大切にしたいとあらためて強く思うように。その思いが紙芝居を通して昔話を語り、ふるさとの大切さを次世代に伝えていけたら。」

そう語るのは同好会会長の植田勝美さん。紙芝居の制作は図書館にある酒吞童子など市内さまざまな昔話を参考に絵を知人のイラストレーターや市内在住の画家に依頼されて、現在まで17



放課後児童クラブで上演する植田会長

作品が完成しています。市内の保育園や小学校、施設などで上演

初めて上演した中六人部保育園での作品は「お空を飛んだ平和さん」です。地元の昔話ということで子ども達が目をキラキラさせ興味深く聞いている様子が目に浮かびます。上演前は読むスピード、感情を込める部分など、猛練習をされて本番に臨まれます。市内にある保育園や幼稚園、また、小学校も全て回ってこられました。地



元の成仁小学校からも毎年要請をいただくなど複数回、同じ学校を訪問されることもあります。さらに夏休み期間は生涯学習課からの要請で放課後児童クラブに夏のゲストティーチャーとして子ども達に紙芝居を上演されています。今は老人福祉施設も回っておられます。

今まで要請があれば、一度もお断りされたことがなく快く引き受けてこられました。そこにはふるさとの大切さをより多くの市民に伝えたいという植田会長の信念をインタビューの中で感じました。活動を始めてから5年が過ぎ、今年9月までの訪問が210カ所を数えるまでに。

今後の抱負

平成25年4月に「福知山昔話紙芝居同好会」を立ち上げられました。お2人の女性スタッフ植村さん、吉良さんが新たに加わりました。

植田会長に今後の抱負について尋ねました。

「皆さん、真剣に聞いてくれています。後から感想文を送ってくれることもあります。また来てくださいね。その話を知っていると素直な気持ちで声を掛けられるとうれしいものです。これからも、もっと聞かせてあげたい。ふるさとを大切に思う心を養って、人を思いやる気持ちを育んで欲しい。」と語っていただきました。



福知山昔話紙芝居同好会の皆さん

編集後期

暑い暑いと言っていたのが、気が付けば秋の気配：萩が咲き、栗の実がこぼれ落ち、つゆ草のブルー、彼岸花の紅色が野原に映えます。

富山市議会で政務活動費の不正取得が相次いで明らかになり、議員辞職が続きます。この人たちは何のために議員になったのだろうかといぶかしい思いを抱きます。(福知山市議会では厳しいチェックが行われています。)

市民と同じ目線で、市民の代弁者として襟を正して頑張りたいものです。さて、今号の議会だよりはいかがでしょうか。論議を重ねて今回の姿が生まれました。より良い紙面構成になるよう今後も研鑽を積んでまいります。感想やご意見をお寄せいただければ幸いです。

(広報広聴委員会)